

No. 1327 (二〇二一年一月一日号) から

No. 1350 (二〇二一年十二月一五日)号まで

No. 1327 (二〇二一年一月一日号)

◇巻頭言◇ 国体「思想と任命拒否事件
『フランスの内乱』と

滝野 忠

大佛次郎の『パリ燃ゆ』と向坂逸郎

中澤 秀行

―松本市美術館のオープンと『非時葉控』の周辺を廻って―
どこをさまよう加藤さん

原 野人

―小山・上野論争に寄せて(8)―

国労上野反合研

JRの中間決算資料を読み解く
読者からのおたより

No. 1328 (二〇二一年一月一五日号)

◇巻頭言◇ ハイネとマルクス・エンゲルス

滝野 忠

―時代を変える―

竹中平蔵のベーシックインカム論と新社会党

山下 俊幸

ヨーゼフ・ディーツゲンに関連して

中澤 秀行

―独学で哲学を学び唯物弁証法を発見した―ドイツ人労働者(1)―

原 野人

ソ連等の変質・崩壊の根本原因

―小山・上野論争に寄せて(9)―

読者からのおたより

No. 1329 (二〇二一年二月一日号)

◇巻頭言◇ 闘い、学び、若い仲間呼びかけよう!

関口 正章

―コロナ口実の雇用破壊・労働条件切り下げを許さない―

上野反合研

仲間と話し合えた「オフピーク通勤」

千葉 幸一

新型コロナウイルスの感染拡大で窮地に

原 野人

BIと普遍主義の終焉

中澤 秀行

―小山・上野論争に寄せて(10)―

ヨーゼフ・ディーツゲンに関連して

井沢 清

―独学で哲学を学び唯物弁証法を発見した―ドイツ人労働者(2)―

井沢 清

政府・警察権力の弾圧は許さない

―1月1日 寒風の大府警本部前抗議行動400名が参加!―

滝野 忠

マルクス主義とマルクス主義者(1)
読者からのおたより

特集号

マルクス主義・階級闘争の原則

原野人

― 小山・上野論争に寄せて ―

まえがき

… 2

小山、上野論争に寄せて

… 2

小ブルジョアインテリのたわごと

… 6

新協会の諸君はどこまで混乱を持ち込むのか？

… 7

ソ連や中国と日本はどう違うか

… 9

剰余価値の法則とエンゲルス

… 11

消えてしまった独占資本の支配

… 14

加藤さんの勘違い

… 18

どこをさまよう加藤さん

… 20

ソ連等の変質・崩壊の根本原因

… 22

BIと普遍主義の終焉

… 24

25歳を迎える『新社会党』を青年諸君に託す

… 25

No. 1331 (二〇二一年三月一日)号

◇巻頭言◇ 労働者に寄り添いつづける

蓑輪 泰臣

行き詰まるリニア新幹線

原野人

― 労働者や農民には有害無益 ―

北の大地の鉄路を守る

佐野 周二

新得―幾寅方面へのダイヤ改定による減便に対する対応のお願い

コロナ 医療費 核のごみ 教育

渋谷 澄夫

ヨーゼフ・ディーツゲンに関連して

中澤 秀行

― 独学で哲学を学び唯物弁証法を発見した一ドイツ人労働者(3) ―

く本の紹介く

今こそ『反帝連帯・平和・友情』の火を！

稲村 守

『ゲバラの HIROSHIMA』佐藤美由紀著

唯物史観は「行動の指針」

滝野 忠

― マルクス主義とマルクス主義者(2) ―

読者からのおたより

No. 1332 (二〇二一年三月十五日)号

■巻頭言■

2 極に割って「第3極」をめざす活動方針案

新社会党大会に望むこと

権利とは何か

― 第四号・第五号議案討議に向けた前提条件の再確認 (一) ―

生活が厳しいからこそ、国労に結集し、

21春闘を共に闘おう！

バイデンじいさんのアメリカ

― 分裂は統一するか ―

反原発のうねりか 裁判所が変わってきた！

― 1月24日 関電本店前抗議に 350名の抗議と梅田デモ ―

◇信州松本 通信◇

寿司はマグロ、学問はマルクス

寿司のネタ、学問のネタ

読者からのおたより

◇ご案内◇

マルクス主義・階級闘争の原則

― 小山・上野論争に寄せて ―

No. 1333 (二〇二一年四月一日)号

■巻頭言■

歴史はくり返される

連合政府と社会主義

― 第四号・第五号議案討議に向けた前提条件の再確認 (二) ―

「第4号議案」「第5号議案」に対する意見書

― 新社会党第26回定期全国大会 ―

福島原発事故から満10年がたって

復興とは被害者を度外視して進めるのか

国鉄闘争終結から10年

― 岩井章さんとの想い出 ―

◇信州松本 通信◇

今も人気絶頂の「水戸黄門」を哲学する

何故に松下幸之助は水戸黄門が大好きだったのか

読者からのおたより

原 野人

相馬 洋

佐々木一雄

上野反合研

滝野 忠

井沢 清

中澤 秀行

原 野人

滝野 忠

佐々木一雄

中澤 秀行

原 野人

滝野 忠

佐々木一雄

新潟県本部

原 野人

滝野 忠

No. 1334 (二〇二一年四月一五日)号

■巻頭言 ■ ごまかしも限界に

「エコ社会主義」と新社会党

―新社会党21年4月の全国大会議案論議に触れて―
社民党との連携について

―どこにさまよう新社会党―

私の思う、国労運動の総括(学習闘争に負けた)

お金といのち、どっちが大事?

―目の前に差し迫っている高浜原発の再稼働に反対します―

原発を動かすのはもうやめてください

―みんなのいのちをまもりたい―

東日本大震災から十年

読者からのおたより

滝野 忠

稲村 守

原 野人

蓑輪 泰臣

山崎 圭子

山崎 朋

相沢 瑞男

No. 1335 (二〇二一年五月一日)号

■巻頭言 ■ 牙を抜かれたマルクス主義

―エコ社会主義と斎藤幸平先生―

階級的労働運動の再建

―社会主義政党及び社会主義者の歴史的使命(上)―

◇信州松本通信◇

向坂逸郎先生と万年筆

「闘いの武器」の行方を気にされていた百瀬嘉郎さん

構造化する「累進増税なき所得制限撤廃」

―子ども手当、幼保無償化、一律10万円給付(上)―

「唯物史観」の学習 第一回

―川口武彦著 「唯物史観」労大新書 1978年―

読者からのおたより

中澤 秀行

佐々木一雄

森 勉

No. 1336 (二〇二一年五月一五日)号

■巻頭言 ■ 社会主義と社会民主主義

資本家の人権と社会主義政党

給付では普遍主義だが財源は階級闘争で??

―構造化する「累進増税なき所得制限撤廃」(下)―

自覚した労働者をつくる

―階級的労働運動の再建(下)―

◇信州松本通信◇

「市民社会」の自由についての考察

―人間のきずなを破壊した「市民社会」―

◇資料◇ 新社会党新潟県本部 執行委員長 小林 義昭

新社会党第26回定期全国大会「第4号議案」「第5号議案」に対する修正案

読者からのおたより

中澤 秀行

山下 俊幸

滝野 忠

原 野人

佐々木一雄

No. 1337 (二〇二一年六月一日)号

■巻頭言 ■ 汚染水 最善の解決策

国民の声を無視する閣議決定許せない

A.L.P.S. 処理水の海洋放出に絶対反対です

2021年4月10日 原発事故被害者相双の会

4号・5号は採決で決定

― 党の性格・変化が心配 ―

森戸稲村論争再来 「官邸前」26回大会

― 代議員の三分の一が提案に疑問符! ―

報告と問題提起

― 新社会党第26回定期全国大会 ―

私の発言 第26回全国大会

変異株に気を付けよう!

信州松本 通信

向坂逸郎先生の蔵書印

― 入山辺、里山辺にある香取秀真の歌碑のことども ―

読者からのおたより

編集部だより

原野人

沢井 清

小山 一郎

佐野 周二

上原 和夫

中澤 秀行

No. 1338 (二〇二一年六月十五日)号

■巻頭言 ■ 情勢について (一)

岡崎委員長の勘違い

洪沢栄一にみる、資本家の哲学

― 「論語と算盤(そろばん)」を読む (1) ―

◇信州松本通信◇

記念版『資本論』の「訳者まえがき」をめぐって

― 百瀬嘉郎さんの証言と與曾井湧司さんの日記から ―

参院広島選挙区再選挙 私の総括

断食中の哲演さん、気迫の訴え

― 京都・滋賀の団体を廻って ―

読者からのおたより

中澤 秀行

西本 章

橋田 秀美

滝野 忠

原野人

森 勉

No. 1339 (二〇二一年七月一日)号

■巻頭言 ■ 情勢について (二)

逆立ちした世の中を変える

― 洪沢栄一にみる、資本家の哲学 (二) ―

労働者協同組合法の成立と国労闘争団の経験

日本共産党綱領について

◇信州松本通信◇

「新松本百景」で紹介された向坂逸郎著『マルクス伝』

― 園廉三(小林俊樹先生)と扉山人(向坂逸郎先生)を想う ―

読者からのおたより

中澤 秀行

山下 俊幸

原野人

滝野 忠
森 勉

No.1340(二〇二一年七月一日)号

■巻頭言■ 社会主義と労働運動

情勢について(三)

『21世紀宣言』と斎藤幸平准教授

— 独占資本の支配をどうするか —

「改正高年齢雇用安定法」と日本の労働者の賃金

— 若い力で国労を強く大きく! —

国労上野反合研

本村 充

原 野人

滝野 忠

◇信州松本通信◇

葉山嘉樹が残した二枚の色紙をめぐる

棚橋小虎の選挙応援に来松した葉山嘉樹に関連して

先制攻撃の日米合同軍事演習反対! 憲法改悪阻止!

— 6・27あいば野集会に結集しよう!! —

読者からのおたより

中澤 秀行

稲村 守

No.1341(二〇二一年八月一日)号

■巻頭言■ 労働者協同組合と社会主義政党

現情勢の特徴について(二)

恐怖政治と恐怖管理

— 新幹線「トイレ事件」 —

運転開始から40年超の美浜原発3号機再稼働へ

日本初の老朽原発再稼働強行・美浜3号機

命の発露の6・23美浜現地緊急全国集会

— 福島事故を見よ! 何も解決していない! —

アメリカ合衆国守備の東洋の盾になれ! オリエントシールド21強行

— あいば野で迫撃砲がまたもや演習場外に飛来! —

稲村 守

井沢 清

原 野人

滝野 忠
伊勢 太郎
蓑輪 泰臣

◇信州松本通信◇

マルクスの「告白」より

— 好きなヒロイン、グレートヒエンによる音楽散歩 —

読者からのおたより

中澤 秀行

No.1342(二〇二一年八月一日)号

■巻頭言■

基本的矛盾の発現—情勢について(四)

都議選結果を総括する

遠方の友からの便りと返信

— エンゲルスとマルクスに沿って —

現状を憂う — 結党時の高揚感が忘れられない —

— 武委員長の実刑判決を阻止! —

— 滋賀のタイヨウ生コン事件(1千万円恐喝) 勝訴をバネに —

— ヒロシマ・ナガサキ 原爆「写真・絵」展 —

— チェルノブイリ原発事故から35年! フクシマ原発事故から10年! —

佐野 周二

山下 俊幸
稲村 守

◇信州松本通信◇

松本市音楽文化ホール運営に携わって

— 経済学はロビンソン物語を愛好する(二) —

中澤 秀行

読者からのおたより

No. 1343 (二〇二一年九月一日)号

■巻頭言 ■ “こんな五輪にだれがした?!”

「メダルラッシュ」でも、忘れてはならない!

コロナ感染が急拡大(第五波)

わが首脳部の頹廢を悲しむ

斎藤君はマルクスをどう歪めているか(一)

連帯ユニオン関生支部反弾圧闘争

— 第1回彦根行動に市民の応援! —

◇信州松本 通信◇

松本市音楽文化ホールの運営に携わって

経済学はロビンソン物語を愛好する (二)

読者からのおたより

国労上野反合研

原 野人

滝野 忠

稲村 守

中澤 秀行

No. 1344 (二〇二一年九月十五日)号

■巻頭言 ■ 新社会党と新生社民党との連携について

混迷を深める新社会党

診察は五感をもつて

— “リモート診療”では難しい! —

アメリカが負けた!

— 情勢について —

横浜市長選と衆院選

斎藤君はマルクスをどう歪めているか(二)

◇信州松本 通信◇

経済学はロビンソン物語を愛好する

松本市音楽文化ホールの運営に携わって(三)

読者からのおたより

中澤 秀行

滝野 忠

伊勢 太郎

小林 誠一

No. 1345 (二〇二一年十月一日)号

■巻頭言 ■ “急がば回れ!” 社会主義政党建設論

週刊新社会の定期購読者 10人拡大!

「新型コロナウィルス感染症」の一考察 (上)

— 民衆には大きな犠牲を強いる —

最高裁への要請行動

— 東電の居直りの対応への怒り

唯物史観の否定から

— 斎藤君はマルクスをどう歪めているか(三) —

“風”は変わった

— 菅で総選挙 —

読者からのおたより

滝野 忠

國分 富夫

原 野人
本村 充

山村 竜

No. 1346 (二〇二一年十月一五日)号

■巻頭言 ■カールマルクスと向坂逸郎 (1)

— マルクス・向坂と斎藤幸平 —

向坂逸郎著『マルクス伝』を読む (一)

「新型コロナウイルス感染症」の一考察 (その2下)

自民総裁選から総選挙へ

— 安倍・菅政権で奪われた生活と権利、民主主義を取り戻そう —

唯物史観の否定から歴史改ざん

— 斎藤君はマルクスをどう歪めているか (四) —

読者からのおたより

原野人

蓑輪 泰臣

本村 充

国労上野反合研

滝野 忠

No. 1347 (二〇二一年十一月一日)号

■巻頭言 ■ 自・公政権に引導を

首脳部の決定を悲しむ

今度は社会主義論の否定

— 斎藤君はマルクスをどう歪めているか (五) —

◇信州松本通信◇

信州松本でヴッパータール交響楽団の「英雄」を聴く

— エンゲルスと「ヴッパータールだより」のことども (上) —

読者からのおたより

中澤 秀行

伊勢 太郎

原野人

滝野 忠

No. 1348 (二〇二一年十一月一五日)号

■巻頭言 ■ 新社会党の現状と「党の哲学」

『ゴータ綱領批判』について

— 斎藤君はマルクスをどう歪めているか (六) —

斎藤幸平君の主張を改めて検討する

信州松本でヴッパータール交響楽団の「英雄」を聴く

— エンゲルスと「ヴッパータールだより」のことども (下) —

読者からのおたより

編集部だより (「はじめの一步」— 21年総選挙について)

蓑輪 泰臣

滝野 忠

原野人

中澤 秀行

No. 1349 (二〇二一年十二月一日)号

■巻頭言 ■ 「はじめの一步」総選挙結果を考える

永遠に生きるもの

— 向坂逸郎著『マルクス伝』を読む (二) —

カールマルクスと向坂逸郎 (2)

— 人口減少のなかでも過剰人口は必然 —

やがて大河となる!

— 10・30 近江八幡 脱原発市民ウォークの火 30名でスタート —

協同組合労働について

— 斎藤君はマルクスをどう歪めているか (七) —

読者からのおたより

蓑輪 泰臣

原野人

沢井 清

滝野 忠

■巻頭言■ 立民、共産、維新

―総選挙結果を考える②―

米軍キャンプ・シユワブ沿岸・「辺野古新基地」

本村金三

―反対の現場から―

労働者搾取・隷属強化の「有期労働契約」を廃止しよう！

本村 充

地球環境とCOP26の何が問題か

原 野人

―石炭と原発と自然エネルギー―

合言葉は美浜3号再稼働阻止

沢井 清

―堰を切らすな！若狭リレーデモスタート

労働者を貧しくする

滝野 忠

―連合労働運動の実態―

労働運動史から見た関西生コン労組弾圧の意味

稲村 守

―「労組つぶしの向こうにあるもの」は？ 11・20永嶋弁護士熱く語る―

読者からのおたより